

青少年交換来日学生一泊研修

2地区(D2660・D2680)合同オリエンテーション報告

青少年交換委員会 委員長

角谷 真枝 (茨木西RC)

日 時:2012年9月29日(土)～30日(日) 1泊2日

場 所:神戸市北区「しあわせの村」内「たんぽぽの家」

参加者:第2660地区 来日学生7名、学友4名、地区関係者5名、第2680地区 牛丸鐵太郎G、大室GE、来日学生6名、学友4名、地区関係者11名

毎年8月に世界各国から青少年交換学生が来日します。来日後すぐ慣れない高等学校での学生生活が始まり、ホストファミリーでの家庭生活を経て、1か月たちますと色々と問題点が生じてきます。この早い時期に問題点を解決できる方法を皆で考え、プログラムを成功させていきたいと、5年前から隣接3地区(D2660・2680・2640)合同でオリエンテーションをおこなってきました。本年度は、丁度大型台風16号が近畿地区接近というニュースの中、第2680地区(兵庫全域)が主催で、当地区との2地区合同でおこなわれました。

例年この研修は日本文化体験ということで、お寺での研修が多かったのですが、今回は日本文化体験とスポーツのできる場所ということで、神戸北区の「しあわせの村」でおこなわれました。研修内容として、1日目は習字と沖縄空手の実習体験、2日目は予定していた屋外でのスポーツは台風の為取り止め、部屋の中で大縄跳びをして、ストレスを解消したようです。習字実習では、学生達全員筆使いが上手で驚きました。第2680地区の牛丸Gも腕まくりして指導にあたられていました。沖縄空手では座位、立位、正拳つき、蹴り、受け、棒術などを実習し



ました。フィンランドからの来日学生サラさんがあまりにも様になっているので、聞くとフィンランドで空手をならっていたということです。他にカリフォルニアのアンドレ君は柔道をしています。

一日目の夜は、来日学生それぞれ担当の学友生がカウンセリングをおこないました。来日生全員が温泉入浴を希望したのも驚きでした。帰宅時は風が強くなりましたが、地区委員がそれぞれ学生達をホストファミリーへ無事送り届けました。

学生達は今回の研修を終え、しあわせな気分になってくれたことを祈ります。ご尽力頂きました関係者皆様有難うございました。

